

# 総合診療科

実習指導責任者：前田 隆浩

実習担当責任者：中道 聖子

## 【診療科別個別行動目標 Specific Behavioral Object, SBO】

1. 症候診断学：経験すべき症候のうち5つについて、自分でレポートにまとめる。
2. 担当した外来もしくは病棟患者の中から2例について、BPS（生物・心理・社会）モデルの考え方に沿ってプロブレムリストを挙げ、プランを立てる。家庭医療カンファランスで振り返りを行う。
3. 患者・家族への説明や多職種カンファランスへの参加を通し、コミュニケーション能力を身につける。
4. 地域医療に必要な、EBM・NBMを意識した診療について学ぶ。そのための情報収集法を身につける。
5. 地域医療に必要な予防医療、行動科学的アプローチを経験する。

## 【基本的実習内容と1日の流れ】

1. 朝来院したらすぐに受け持ち患者の熱型表及び看護・診療記録などを確認し、患者状況を把握した上で、患者を訪問し、病状を確認した上で、POS（Problem Oriented System）に準拠してカルテに記載する。
2. 患者状況を指導医（主治医）へ報告する。
3. 指導医（主治医）と当日の実習計画と課題を確認する。患者情報を整理し、ディスカッションを行う。
4. 臨床検査、患者処置、患者説明へ主治医と共に参加する。
5. 総回診やカンファランスへ参加し、受け持ち患者のプレゼンテーションを行う。
6. 課題・疑問点を整理し、インターネットや図書館などを利用して検索・調査する。
7. 日中は院内 on call 体制で、新患がある場合は外来患者実習を行う。
8. 夕方16時に1日の総括ディスカッションを主治医・指導医と行い、診療プランを確認する。
9. 毎週火、水曜日朝カンファ後には抄読会、勉強会へ参加する。
10. 最終週の医局会で経験症例のログ、振り返り、1ヶ月の学習内容を発表する。